

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）
 「オープンアクセス化に向けた国際情報発信強化のための出版事業刷新とプロモーション促進」
 （課題番号：251002）

学術団体名：一般社団法人 日本核医学会
 学術刊行物の名称：Annals of Nuclear Medicine
 事業期間：平成25年度～平成29年度

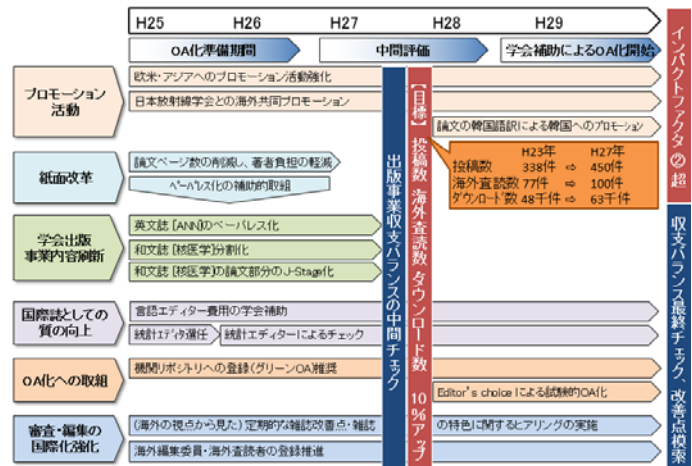
1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

国際認知向上とそれによる投稿誘致、インパクトファクター上昇をはかり、当該分野における本誌の地位を確立した後に、オープンアクセス（OA）化への基盤形成を行うことをゴールと設定した。そのために、国内外への本誌プロモーション強化、グリーンOA促進、審査・編集の国際化強化、他学会・学術誌との連携、学会出版業務全体の合理化を考え、課題事業を行った。

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

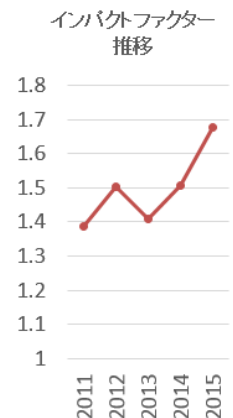
1. プロモーション活動強化：国内外学会との連携強化、国際学会におけるプロモーションを行い、当該雑誌の国際認知向上を図る。
2. 学会出版事業内容刷新による投稿誘致：学会全体の出版体制見直しによる経費削減により余剰経費を得てOA化へ活用する。
3. 言語エディター・統計エディターによる国際誌としての質向上：言語エディター費用の著者負担免除、統計エディター設置により論文の質を向上させる。
4. グリーンOAへの公開促進とEditor's choiceでのOA論文選定：掲載論文の国際的露出を高め、投稿誘致に繋げる。
5. 審査・編集の国際化強化：海外編集委員・査読委員の増強、統計エディターによる論文の質向上
 評価指標として、投稿数、海外査読数、ダウンロード数、インパクトファクター増加を設定した。



2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

複数の国際学会で投稿誘致をアピールした。投稿数は調書準備段階での338件から400件超に増加した。また海外投稿数も221件から309件に増加した。また海外研究者による査読数は論文数で77件から100件程度に増加し、投稿・審査の国際化が達成できている。言語エディターによる英文校正による論文質向上を行った。また統計専門家を統計エディターとして編集委員会に加えた。他学会との連携は、本事業開始前の2学会に加え、新たに3学会と論文相互閲覧あるいは雑誌紹介の連携関係を構築した。さらに、欧州核医学会誌（Eur J Nucl Med Mol Imaging誌）とは、掲載論文を相互に紹介する企画で連携することで合意した。中国核医学会とも類似の連携をすることで協議中である。論文露出語向上のため、優れた論文をeditor's choiceとしてOA設定を行った。これらの事業展開により、本誌の国際情報発信能力は著しく高まってきたと考えられる。本誌インパクトファクターは、事業開始前の1.502から1.677に増加しており効果が確認できる。



出版事業刷新として、和文誌の合理化方針を決定し、来年より開始することとなった。それにより得られる削減経費を、本課題当該誌のOA化推進に利用することができる目処がたった。

・今後の計画

海外学会でのプロモーション活動を継続するとともに、海外他学会との連携拡大を図る。現時点で2学会と新たな連携を協議中である。本課題申請時にあげた当該誌のペーパーレス化による出版合理化に関しては、プロモーション活動における印刷冊子体の利便性などがあるため、会員配布分の冊子体作成を終了する方向で会員に周知理解を求め実施を検討する。OA化に際して必要な著者負担分（article processing charge）の学会部分負担によるOA論文増加を試みる。